

公立大学法人横浜市立大学医学部交流協定大学・研究機関等への学生派遣実施要綱

制 定 平成 30 年 4 月 1 日

最近改正 令和 5 年 4 月 1 日

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、公立大学法人横浜市立大学学生海外派遣補助金の支給にかかる規程（以下「規程」という。）に定める学生海外派遣プログラムの実施について定めるものとする。

(定義)

第 2 条 この要綱において、使用する用語の定義は、次の各号に定めるところによる。

(1) 参加学生 本学の学生を海外に派遣するプログラムに参加する学生をいう。

(2) 補助金受給学生 本学の学生を海外に派遣するプログラムに参加し、かつ補助金の受給が決定された学生をいう。

2 この要綱を適用するプログラムは、規程別表のうち、医学教育推進課が所管するものとする。

(参加の条件)

第 3 条 参加学生は、海外研修・留学に適切な健康状態にあり、派遣先の大学・研究機関等での教育を受けるに十分な能力と適性を有する者とする。

2 参加学生は、大学が指定する条件を満たした海外旅行傷害保険に加入しなければならない。

3 参加学生は、大学の指定する事前研修に参加しなければならない。

(参加の期間及び身分)

第 4 条 派遣期間は原則 3 ヶ月以内とし、学則の定めに基づき、この間は休学としない。

(応募)

第 5 条 学生海外派遣プログラムに応募することができる学生は、本学の在学生とする。

(参加学生の決定)

第 6 条 理事長は、医学部長からの推薦に基づき、参加学生及び補助金受給学生を決定する。

2 理事長は、補助金受給学生に補助金交付決定通知書(様式 1)(以下「決定通知書」という。)を交付し、規程に基づき予算の範囲内で補助金を交付する。

(誓約書の提出と請求)

第 7 条 参加学生は、本学の提示する誓約書及び行程の分かる資料を理事長に提出しなければならない。

2 補助金受給学生は、前項の書類に加え補助金請求書(様式 2)を理事長に提出しなければならない。

(報告)

第8条 参加学生は、帰国後、指定された期限までに次の書類を理事長に提出しなければならない。

(1) 報告書

(2) 渡航の事実が確認できるもの

(3) 留学先の大学等が発行した成績証明書

2 補助金受給学生は、前項に加え参加に必要な諸経費の支払いを証する書類（往復航空券代、授業料、宿泊費等）を理事長に提出しなければならない。

3 参加学生は、海外研修や留学の成果について報告義務を果たさなければならない。

(補助金の返還)

第9条 理事長は、次の各号に該当した学生に対して、補助金の一部又は全部を返還させることができる。なお、返還方法については別に定めるものとする。

(1) 第7条第1項における誓約事項に反したと認められる場合

(2) 決定通知書で定められた目的で渡航しなかった場合

(3) 諸経費が補助金額を下回った場合

(4) 帰国後、精算のための書類提出や報告義務を怠った場合

(単位認定)

第10条 学長は、参加学生の海外実習の成果について、当該参加学生が所属する学科で教育上有益と認めるときは、学則の定めに基づき本学の単位として認定することができる。

(事務処理)

第11条 派遣先の大学・研究機関等との学生派遣に関する事務は、医学教育推進課で処理する。

(実施の細目)

第12条 この要綱に定めるもののほか、派遣先の大学・研究機関等への学生派遣に関する必要な事項は、医学部長が別に定める。

附 則

(施行期日)

この要綱は、平成26年6月24日から施行する。ただし、規程別表に掲げるプログラムのうち、医学科リサーチクラークシップについては、平成26年4月1日から適用する。

附 則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。